

令和5年度 授業改善に関するカリキュラム・マネジメントリーダー研修 実施要項

1 目的 高等学校における校内授業実践研究を効果的に進めるための方法を実践的に習得し、組織的に授業改善を推進し、カリキュラム・マネジメントを実践できるリーダーを育成する。

2 対象 高等学校の教員

募集人数 40名

3 日時等 2月16日以降の変更部分に網掛けをしています。

回	日時	主題等	講師等
1	5月15日(月) 15:00~17:00	学校全体で取り組む授業実践研究の基本的な考え方 ー組織的な授業改善の意義とリーダーとしての役割ー カリキュラム・マネジメントの重要性 ー授業改善と連動させた学校経営の展開ー 授業実践研究計画書の作成に向けて [講演・講義・協議]	京都大学大学院 准教授 石井 英真 大阪府教育センター 指導主事等
2	6月12日(月) 15:00~17:00	協働的・計画的に授業実践研究を進めるために ー実践事例から学ぶー 各校における授業実践研究計画の改善と共有 ー授業改善のPDCAサイクルー [講義・演習]	大阪府教育センター 指導主事等
3	10月16日(月) 15:00~17:00	各校における授業実践研究の取組みの実際 ー中間報告会ー ー授業改善のCheck(評価)とAction(改善)ー [講演・発表・協議]	大阪府教育センター 指導主事等
4	1月29日(月) 14:00~17:00	各校における授業実践研究の取組みの交流 ー実践成果報告会ー 実践を引き継いでいくために ー次年度に向けてー [発表・協議・講義・演習]	京都大学大学院 准教授 石井 英真 大阪府教育センター 指導主事等

※太字の時間帯は、通常の時間帯と異なるので注意してください。

- 4 会場 大阪府教育センター（大阪市住吉区苅田4丁目13番23号 電話06-6692-1882）

Osaka Metro 御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m

JR阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m

近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

- 5 その他
- (1) 受付は30分前から。
 - (2) 来所時には、所属名・名前が入った名札を着用すること。
 - (3) 自家用自動車・バイク等は大阪府教育センターに駐車できません。
 - (4) 事前に準備しておく事項があるので、シラバスを必ず確認する。

- 6 担当室 高等学校教育推進室

個別募集

令和5年度 授業改善に関するカリキュラム・マネジメントリーダー研修 シラバス

1 目的

高等学校における校内授業実践研究を効果的に進めるための方法を実践的に習得し、組織的に授業改善を推進し、カリキュラム・マネジメントを実践できるリーダーを育成する。

2 大阪府教員等育成指標の対象項目

OSAKA 教職 スタンダード	共通の指標														
	I			II			III			IV			V		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
第4期							○	○	○	○	○	○			
第3期							○	○	○	○	○	○			
第2期															
第1期															

3 研修の主題とねらい等

回	主題	ねらい	内容	準備物・事前課題
1	学校全体で取り組む授業実践研究の基本的な考え方 －組織的な授業改善の意義とリーダーとしての役割－	組織的な授業改善及び授業実践研究の意義を確認し、リーダーとして自らが果たすべき役割について理解する。	講義・演習により次のことを理解する。 ・カリキュラム・マネジメントとは ・高等学校学習指導要領(平成30年告示)におけるカリキュラム・マネジメントの位置づけ	準備物 各所属校の学校経営計画、学校教育自己診断及び授業アンケートの分析結果 事前課題 Google フォームによる講義動画視聴及び事前課題の提出 ※詳細については、別途連絡
	カリキュラム・マネジメントの重要性 －授業改善と連動させた学校経営の展開－	「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、カリキュラム・マネジメントの重要性について理解を深める。	・カリキュラム・マネジメントリーダーに期待される役割 ・研究授業や校内研修に教員が参加しやすくするための工夫	
	授業実践研究計画書の作成に向けて	所属校の「校内授業実践研究」の目標設定の方法について理解する。	学校経営計画、学校教育自己診断及び授業アンケートを用いて今年度の計画を立案する。	
2	協働的・計画的に授業実践研究を進めるために －実践事例から学ぶ－	効果的な授業実践研究の進め方、研究授業後の研究協議会の持ち方について理解する。	・過去に実践された事例を聞き、研究の企画運営のポイントを所属校の取組みに生かす工夫を考える。	事前課題 Google フォームによる講義動画視聴及び事前課題の提出 ※詳細については

	<p>各校における授業実践研究計画の改善と共有</p> <p>—授業改善のPDCAサイクル—</p>	<p>PDCAサイクルを取り入れた授業改善・授業実践研究計画について、所属校の課題や改善すべき点を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業改善に関する様々な評価方法の特徴を理解する。 ・所属校が設定した目標に適した評価方法を選択し、持参した計画書に組み入れ、改善を図る。 	<p>は、別途連絡</p>
3	<p>各校における授業実践研究の取組みの実際</p> <p>—中間報告会—</p> <p>—授業改善のCheck（評価）とAction（改善）—</p>	<p>自校における実践の成果と課題を認識し、今後の研究授業に向けての課題、改善すべき点等を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実践レポートにもとづき、各校の実践及び、その成果と課題についてグループで報告・交流する。 ・今後の所属校の校内研修の活性化に生かす工夫を考える。 	<p>事前課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講者各自が所属校で校内研修を企画・運営・実施し、10月2日（月）までに実践レポートをGoogleフォームに提出する。様式等、詳細については第2回に連絡 ・提出された実践レポートを閲覧し、Googleスプレッドシートにコメントをする。
4	<p>各校における授業実践研究の取組みの交流</p> <p>—実践成果報告会—</p>	<p>学校のめざす姿につながるカリキュラム・マネジメントの在り方について再確認し、所属校の取組みを振り返る。</p>	<p>各校の実践について報告・交流して次のことを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各校の目標達成状況（成果と課題）を共有する。 ・所属校の成果と課題を再確認・整理する。 	<p>事前課題</p> <p>発表資料をGoogleフォームに提出（締切りは1月9日（火））</p> <p>様式等、詳細については第3回に連絡</p>
	<p>実践を引き継いでいくために</p> <p>—次年度に向けて—</p>	<p>授業実践研究推進リーダーとして、年間の実践を踏まえて、次年度に向けての具体的な取組みについて考える。</p>	<p>授業実践研究推進リーダーとして、所属校の成果と課題を整理して、次年度の具体的な授業実践研究の行動計画を作成する。</p>	<p>事後課題</p> <p>報告書提出（締切りは2月19日（月））</p> <p>様式等、詳細については第3回に連絡</p>